

甲南大学卒業生がカンボジアで運営する児童養護施設 「スナーダイ・クマエ」の絵画展を開催します

このたび甲南大学では、卒業生のメアス博子氏（H9・経営学部卒）がカンボジアで運営されている児童養護施設「スナーダイ・クマエ」で生活する子どもたちが描いた絵画の作品展を開催いたします。「スナーダイ・クマエ」では、美術や図工の授業がほとんどないカンボジアで、子どもたちが絵を描くことを学んでいます。そして、彼らが見るカンボジアや日常のシーンが生き生きと描かれた作品の数々が絵画展として今年も甲南大学にやってきます。ぜひご来場ください。

※絵画展は、和歌山・東京・岡崎でも開催します。

スナーダイ・クマエ絵画展 2017

公式ホームページ：<http://snadaicam.com/>

日時：2017年7月14日（金）・15日（土）・16日（日） 各日とも午前10時から午後5時まで
 場所：甲南大学岡本キャンパス 甲友会館ロビー（〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号）
 入場料：無料



スナーダイ・クマエとは・・・

1998年に設立された児童養護施設「スナーダイ・クマエ」は「カンボジア人の手によるもの」という意味を名前に持つ施設です。（1998年カンボジア内務省ローカルNGO登録済み）

虐待を受けていた子どもや身寄りのない子ども、母子家庭の子どもを受け入れ、養育を行っています。

子どもが子どもらしく周囲からの愛情を受け、心身ともに健康に成長できる場、そして自らの手で

生きる力を持って人生を開いてゆく人を育てる場として、カンボジア・シェムリアップ州で活動しています。